



坂と建物を調和させた景観づくりが図られた



商店の近代化も進められている



木材を多用して暖かみのある街並みを演出

DATA・BOARD ①

- ①北海道 上川郡 上川町 層雲峡
- ②整備面積：24,801㎡，建物延床面積：16,842.86㎡，
関連道路整備・延長：720m，幅員：8m
- ③JR石北本線上川駅からバスで約30分・層雲峡温泉下車，道央自動車道旭川麻栖1Cから車で約1時間20分
- ④層雲峡温泉，銀河・流星の滝ほか
- ⑤層雲峡峡谷祭り（7月の最終土曜・日曜日），層雲峡氷瀑まつり（1月下旬～3月上旬）



1 上川・層雲峡圏プラン65再整備計画



上川町の層雲峡地区は、大雪山国立公園の中心観光地として知られている。昭和三十二年には、集団施設地区の指定を受けて地区内に散在していた店舗などが現在の場所に移転した。しかし、経年変化による建物の老朽化が進むとともに、一部の建て替えなどに際しても計画的な整備が行われず、魅力の少ない街並みになってしまっている。そこで、国立公園の玄関口にふさわしい地区として再生を図るために、建設省の市街地再開発事業優良建築物等整備事業により「上川・層雲峡圏プラン65再整備計画」が進められた。

整備にあたっては、地域住民を交えた実行委員会による検討が重ねられ、建物の集積効果を利用して坂を活かした街並み景観をつくとともに、景観の統一を行いながら各戸が生活感あふれる個性を持った街並みの創出が図られた。

建物については、デザインや壁の色彩などにゆるやかな統一規定を設け、その中から地域住民が選択できるようにしたほか、数棟ごとのグルーピングを行い、坂の勾配に対して街並みが重なるような景観づくりに考慮した。また、バルコニーや隅柱などに木材を使用し、ぬくもりのある情景を演出している。

整備後は、地域における景観づくり意識も高まり、層雲峡温泉を訪れる観光客誘致にもつながる街並みに生まれ変わった。